



デザイン：石ノ森 章太郎
生涯学習のマスコット“マナビイ”

NO.257

長い間、勤務してきた職場を定年退職され「第二の人生」として、充実した日々を過ごしておられる里山良朗さん。
今回は、里山さんに生涯学習について、お尋ねしてみました。

たぶせ竹楽坊との出会い

配原自治会 里山 良朗

私の、生きがいとは何だろうと聞かれた時、8年前に定年退職した時の事を思い出しました。これからは、バラ色の人生が待っていると思っていました。しかし現実には、朝目覚めると出かけるどころもなく、ダラダラとテレビを見て過ごす毎日が待っていました。

妻からは新入社員扱いされ、主夫業見習いとなり家事一般をしごかれる中、ふと「俺の人生は、こんな事ではなかつ

た」と思っていると、全て手作りで作った、竹を使った楽器で演奏するサークルがあるとウオーキング仲間から聞きました。

一年が過ぎ気持ちにゆとりが出来たとき、誘われて覗いて見ることにしました。今まで音楽は聴く程度で、楽譜を見て演奏する事が出来るだろうかと不安を感じました。そんな状態で笛を渡されて吹くのですが、まったく音が

出なくて、その様子を見られて打楽器を進められました。笛と違って竹を打って音を出すので、少し希望がわいて来て「やれるかも」という気持ちになり、入会することに決めました。これが、たぶせ竹楽坊との出会いです。

最初の一〜二年間は、悪戦苦闘という状態でしたが新入会員が加わった事で日々楽しくなり、練習を一日千秋の思いで待つようになり、二年間は皆勤

賞を頂いて益々楽しくなりました。何より心の温かいリーダーの人に対しての接し方が、とても素晴らしいと思えました。何故なら、注意した後からのフォローが必ず有るからです。昔は当たり前だった事がここにあると感じました。

これをきっかけに生きがい教室にも入会して、月一回の行事には必ず参加しています。この会に入って感じた事は、男性に対して女性が多い事です。何故でしょうか？仕事で疲れて外に出ることが少なくなった事も原因の一つでしょうか？自分もそうでしたが、参加するようになって足も軽くなり出かけやすくなりました。皆さんと出会って色々話したり、動く事でボケ防止にもつながると思っています。家に居る男性の方はぜひ、出て来て下さい。妻とは距離を置くことでお互いを尊重



し合い、束縛することもなく、主夫業と両立することで、互いの生活にメリハリが出て来たように思っています。

「みんな違ってみんないい」です。これからも人生を百二十年と決め、何事も楽しみたいと思っています。

「笑う門には福来たる」の如し。



地域と共にある

学校づくりに向けて

本校の教育目標は、「至誠」「創造」です。至誠とは、きわめて誠実なことであり、まごころのことです。創造とは、新しいものを産み出すことであり、自分自身を日々新たにしていくなことでもあります。

本年度は、地域の方々の協力をえて「まるごとーやまぐち料理教室」の開催や「99歳スパーおばあちゃん」講演会など、キャリア教育を基盤とした将来の夢を育む教育を推進してきました。

また、チャレンジ目標として、「あいさつ 時間 そうじ」という三つの目標を掲げています。中学校生活の三年間で、「知・徳・体」のバランスのとれた生徒に成長できるように、日々着実に学校生活に取り組んでいます。

本校は、今後コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)として、地域と共にある学校づくりを進めてまいりますので、さらなるご理解・ご支援をお願いいたします。

田布施中学校 校長 金澤 和紀



学校シリーズ⑤

田布施中学校

生徒数：400人



第163回

サークルスケッチ

若草吟詠会

城南公民館



べんせい〜しゅくしゅく〜
よるかわを〜わたる〜
頼山陽作のこの一節は、多くの方がお聞きになったことがあると思います。

若草吟詠会は、十年以上も前に一緒に練習した仲間を中心に、一昨年から再開しました。詩吟は、漢詩に節を付けて詠いますが、これに日本舞踏や剣舞、また尺八と一緒に詠じる場合もあります。私たちは日本の主として、明治時代までの漢詩、中国古来の有名な漢詩に先生から節調(節回し)を付けてもらって、練習をしています。詩吟は決して難しいものではなくて、節調も数パターンに限られ、その通りに詠えばどなたでも簡単に始められます。和歌・今様を取り入れて吟じることもありま

す。詩吟は、腹から声を出すように指導されます。また大きな声を出しますので、ストレス発散、健康にとっても良いのですが、これがなかなか出せないものです。



若草吟詠会は、年一回ほど公民館祭りみなさんの前で全員揃って詠う合吟を披露しています。和気あいあいの仲良しサークルですので、ぜひ見学にお越し下さい。

- 講師 反田 薫
- 日時 毎週木曜日 午後1時〜午後2時
- 場所 城南公民館
- 代表者 光井 静子